

ゆうこう道政便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

青空の集い開催

ジンギスカンで交流深める! サフォークの丸焼き好評!

8月9日開催

今年の「北口雄幸道議と語る青空の集い」は、昨年が台風の影響で急遽中止となったことから、今年は約1ヶ月早めて、8月9日の土曜日に開催することとし、準備を進めてさせていただきました。



青空の集いで道政報告する北口道議と由香里夫人

「北口雄幸道議と語る青空の集い」のお礼

秋冷の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、8月9日は、心配されました雨も晴れ渡り、おかげさまで、盛会のうちに開催させていただくことができました。

チケットを購入又はご参加いただいた皆様に、心よりお礼申しあげ、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

北口雄幸士別市後援会長 小貫勝太郎
北海道議会議員 北口雄幸

心配された天気

8月9日の天気予報は晴れ。ところが、朝7時頃から雨が降り出し、準備で集まる8時になっても霧雨がぱらついています。

それでも、小貫会長が「きつと晴れますから、準備を進めてください」との決断後、9時頃からは青空が顔を出し、皆さん

300名の来場

会場には、300名を超える皆さんがご参加いただき、小貫会長が主催者を代表してご挨拶。その後、佐々木隆博代議士、鯉谷忠道議会副議長から祝辞をいただきました。



佐々木代議士も駆けつけていただく

道政報告に立つた北口道議は、「ふるさとが元気になってほしいとの想いで活動をしてきた。ふるさとが元気にならなければ北海道も日本も元気にならない。もっと元気になるよう頑張る」との決意を込めた道政報告を行い、山居忠彰全上川農民連盟委員長の乾杯で交流を深めました。



ジンギスカンを囲み交流を深めました

今回の青空の集いでは、士別市内のほか富良野市や当麻町からも駆けつけていただきました。また、前段から当日まで準備に係わっていた創成地区後援会の皆様及び関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

第三回定例道議会報告(9月9日、10月3日)

平成20年第3回定例道議会は、9月9日に収集され、10月3日までの25日間の日程で開催されました。

今定例議会は、2代続けて政権を投げ出した中で、経済・雇用対策、原油・諸資材高騰対策をどうするか、地域の反対を押し切って強行採決した支庁制度改革、本来参加することが出来ない業者を特例で参加させた当別ダム入札問題など、多くの問題が山積している議会でありました。



福祉灯油の増額を質問(昨年12月11日)

壇上、一般質問には7名の同僚議員が質問しました。

北口道議のねばり強い行動で3倍増に

福祉灯油の補助金増額を勝ち取る

北口道議は、ここ数年高値で推移している灯油問題に着目。北海道で市町村に対して補助している福祉灯油の市町村に対する補助金上限額を撤廃。あわせて増額を勝ち取りました。

現行の福祉灯油の市町村に対する補助金基準額は、人口規模によって決められ、人口1万人未満が補助金額

また北口道議は、10月2日の総合企画委員会において、市町村立病院における病院特例債の申込み状況などを質問しました。



山本副知事に福祉灯油増額を要望(昨年12月12日)

活動が今回の増額につながりました。

北海道の福祉灯油の対象世帯は、高齢者、障がい、母子の非課税世帯となっており、生活保護世帯等が含まれていないため、今後更なる運動で、支給世帯と支給額の拡大を図る必要があります、我が会派での大きな課題となっています。

43億の補正を可決

可決された補正予算は、一般会計42億4千万円、特別会計7千5百万円の合計43億1千5百万円。原油等高騰対策は、新設制度融資原資15億2千8百万円、福祉灯油対策費増加2億円、ペレット暖房機器補助2千1百万円などとなりました。なお、我が会派が第2回定例会で提案していた「北海道地球温暖化防止対策条例案」の取り扱いは、最大会派である自民会派内での協議が進まず、継続審議扱いになりました。

可決に向け努力します。

採択された決議・意見書

生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書
「安心実現のための緊急経済対策」に関する意見書
学校耐震化に関する意見書
消防の広域化と消防無線のデジタル化に関する意見書
新たな過疎対策法の制定に関する意見書 第2期地方分権改革に伴う道路、河川の権限移譲に関する意見書
事故米の不正流通及び中国産加工食品へのメラミン混入事案に関する意見書
独立行政法人雇用能力開発機構が設置する公共職業能力開発施設の存続に関する意見書
太陽光発電システムのための普及促進を求める意見書
公共交通機関の路線の維持・確保に関する意見書
私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書
農業生産資材の高騰対策及び米の集荷円滑化対策に関する意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(7月~9月)



全上川農運宗谷線ブロック研究会
修会和寒町7月7日



北海道盲導犬協会を視察し佐々木紀夫会長からお話しを伺う:札幌市7月3日



理容生活衛生同業組合スボ
ツ交流会土別市7月21日



創成自治会「お年寄りを祝う会」
土別市9月13日



佐々木衆議木村道議と街宣活動:旭川市9月5日



きたごりんファームで
刈りとはさ掛けを行う上
土別町9月15日

幌加内町で医療の
実態調査8月12日



土別歩こつ会「美瑛の丘ウ
オーク」美瑛町9月14日
少年団年齢別水泳大会:土
別市9月21日



北口ゆうこう奮闘日記

<http://y-kitaguchiner/>

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(7月～9月分)

7月24日【中央政府に対する提言と要望】

今日は、平成21年度予算に対する提言と要望で、中央官庁の各省庁を歩いてきた。今日の東京の気温は35度。しかも湿度が高いのでムツとする暑さだ。最悪なのがビルから排出される温風だ。この温風が異常に暑い。東京というところは、とても私の住めるようなところではなさ



平成21年度予算に対する提言と要望

そうだ。なお、提言と要

望先は、内閣官房、内閣府、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省に出向き、北海道における課題と要望を訴えてきた。

8月21日【全道農業危機突破総決起大会】

今日札幌で、生産資材価格高騰等に係る全道農業危機突破総決起大会に参加してきた。会場には、全道各地から5千人を超える農業関係者の皆さんが駆けつけ、今の農業を取り巻く厳しい状況を訴えた。冒頭、主催した実行委員会を代表し、飛田北海道農協中央会長が壇上に立ち、「生産資材、特に肥料が



全道農業危機突破総決起大会



地元に参加したデモ行進

7割8割高騰した、コスト削減も限界だ。北海道農業を守るためにも日本の食卓を守るためにも緊急対策を図ってほしい」と訴えた。その後、後援団体の北海道を代表して山本副知事、北海道商工会連合会を代表して浜田副会長がそれぞれ挨拶した。さらに、各政党の代表者も北海道農業を守ると熱く語った。集会後、私は地元の皆さんとともに、会場の中島公園から大通り8丁目までをデモ行進して、道民の皆さんに訴えさせていただいた。

9月6日【スポーツボランティア「全市ゴミ拾い」】
今日、士別市中央スポーツ



全市ゴミ拾い事業に参加したメンバー

クラブ(今井忠則会長)主催のスポーツボランティア「全市ゴミ拾い」事業に参加してきた。このイベントは、世代交流事業の一環として、子どもからお年寄りまで一体となってゴミ拾いを行い、併せて交流を図ろうとするものである。このゴミ拾いに、スポーツ少年団や各スポーツクラブに加盟する皆さんや職場の仲間約60人が参加した。市内を3つのエリアに分け、それぞれのエリアでゴミを拾い、それを集計して班毎に競争しようというものである。結果は私が所属した1班が優勝した。このゴミ拾いで感じたことは、とにかくタ

バコの吸い殻が多いことには驚いた。至る所に吸い殻がある。駐車場にまとめて捨ててもあった。喫煙を否定しないが、マナーは守ってもらいたい。それが最低限の社会のルールではないだろうか。

【ひとりごと】「自民党

総裁は政権を投げ出すことができて、国民は生活を投げ出すことはできない。これは、9月21日小沢民主党代表が語った言葉だ。安倍政権、福田政権と2代続けて政権を投げ出した自民党も、その自民党に政権担当能力はないのではないだろうか。政権を担当できないなら、国民に信を問い、解散総選挙を行うのが筋だと思う。2001年小泉政権が誕生以来、私たちの暮らしはどうなっただろうか。医療や福祉、年金など、私たちの生活は日に日に苦しくなっている。それを解決するのが政治なのだ。私たちが唯一持っているのが投票する権利だ。今回の選挙はきわめて大事だ。今までの事を思い起こし、私もしっかり行動しようと思っている。(ゆうこう)